

国際交流員ダニエルの

KANGA
KOURYUU

カンガ交流



オーストラリア産(開発)の 「インディー・ゲーム」

ゲーム業界は現在、急成長している業界の一つです。パソコンやゲーム機、スマートフォンなどでゲームソフトやアプリを使って遊べるため、多くの人々が親しみやすくなっています。初期のゲームソフトは、主に1人から少人数での開発が一般的でしたが、パソコンやゲーム機などの普及でゲームが流行し、次第に開発に関わる予算や人も増え、昔に比べて市場規模が大きくなりました。

今回は大手ゲーム会社ではなく、Indie Game (インディー・ゲーム) という少人数、低予算で開発を行う業界の大人気ゲームについて話します。どうぞ、楽しんで読んでくださいね。

単なるジョークがゲーム開発のきっかけに

「Untitled Goose Game (アンタイトルドグースゲーム・いたずらガチョウがやって来た!)」は、オーストラリアのゲーム開発チーム「House House (ハウスハウス)」が開発し、2019年に発売されました。House Houseはメルボルンを拠点とするインディーゲーム会社で、メンバーはたったの4人しかいません。

ある日、新しいゲームのアイデアを話し合っているときに、メンバーの1人のスチュアートさんが、ガチョウの画像を見せて、「このガチョウのゲームを作ろうか?」とジョークで提案しました。それを聞いたチームのメンバーは笑いましたが、詳しく話をしている内に、面白いアイデアが次々と生まれ、チームで一丸となりゲームの開発を進めていきました。

気性の荒いガチョウにご用心!

本物のガチョウはとても面白い動物です。私たちは水辺の公園や牧場、動物園などでガチョウを見ることができます。泳いだり、しっぽを振って歩いたりする様子はとても可愛らしく、好きな人も多くいると思います。しかし、実は野生のガチョウは気性が荒く、見慣れない人や動物を見ると襲ってきたり物を盗んだり、よくトラブルを起こすためあまり好きではない人もいます。このゲームでは、そんなガチョウを操作し

オージー・スラング・タイム

オーストラリアのスラングを学ぼう



"Woop Woop"

読み方 「ウープ・ウープ」

意味 「片田舎、小さな村や町、遠く離れた場所」

オーストラリア大陸はとても広く、オージー(オーストラリア人)にも知られていない町や場所が多くあります。自分の住む町や目的地の名前を説明するのが難しいとき、オージーは「Woop Woop」と言います。例文としては「I'm going out to Woop Woop for a job this weekend」。[「今週末、仕事で片田舎に行きます」という意味になります。

て、イギリスによく似た町で住民にちょっかいを出していきます。物をくわえたり、「ガァー!」と鳴いたり、羽ばたいたりしながら、住民の物を隠すなどのイタズラをします。

町は「農園」と「メイン通り」、「裏庭」、「酒場」の4つのエリアに分かれていて、それぞれにイタズラのミッションがあります。例えば、農園にいるおじさんをスプリンクラーを使ってビショビショにしたり、酒場にあるおもちゃのボートを盗んで湖で遊んだりなど、さまざまなイタズラがあなたを待っています。住民の反応もとてもコミカルで、イタズラが成功しても失敗しても面白く、プレイする皆さんが笑顔になること間違いなしです!

ストレス発散にもオススメです

実は、この記事を書くために私も「Untitled Goose Game」をクリアしました。可愛いガチョウを操作して、町の中を冒険するのはとても楽しかったです。謎解きも面白いので、頭を使うのが好きな人にもオススメです!

皆さんも興味があったら、「インディー・ゲーム」で遊んでみてください。ストレスを発散したいときに、「ガァー!」と叫びながらプレイするのもオススメです(笑)



▲店の中は大混乱!



▲洗濯物を干すガチョウさん(嘘です)